

在日米軍及び自衛隊のヘリコプターの安全対策を求める意見書

平成 29 年 12 月 13 日、米軍普天間飛行場所属ヘリコプター CH53E が小学校上空から児童がいる時間帯に校庭へ窓を落下させる事故を起こした。

また、今年に入ってから、沖縄県において在日米軍のヘリコプターの不時着陸が立て続けに発生している。

さらに、去る 2 月 5 日、佐賀県神埼市において、陸上自衛隊ヘリコプター AH64D が民家に墜落し、乗員 2 名が死亡、住民が負傷する事故が発生した。

短期間でこれほど多くの事故や不時着陸が発生していることは、米軍や自衛隊における航空機の安全対策について、本市をはじめ基地周辺住民に大きな不安を抱かせるものであり、大変遺憾な事態である。

このため、国は、米国政府とともに、米軍・自衛隊基地の周辺住民の不安払拭に向け、ヘリコプター墜落や部品等の落下、不時着陸の再発防止の徹底に取り組む必要がある。

よって、本市議会は、国会及び政府におかれて、次の措置をとるよう、強く求めるものである。

- 1 機体や機器類の日常点検・整備の徹底及び整備内容・項目の再点検を実施すること。
- 2 ここ最近で多発するヘリコプターの事故について、その原因を早期に究明し、実効性ある安全対策を講じること。
- 3 事故が発生した場合、地元自治体の意向を尊重し、安全が確認されるまでは同機種種の飛行を中止すること。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

相 模 原 市 議 会

国 会
内 閣
あ て

平成 30 年 3 月 23 日提出

提出者	相模原市議会議員	小野沢	耕一
提出者	相模原市議会議員	久保田	浩孝
提出者	相模原市議会議員	山下	伸一郎
提出者	相模原市議会議員	小田	貴久
提出者	相模原市議会議員	臼井	貴彦
提出者	相模原市議会議員	小野	弘
提出者	相模原市議会議員	石川	将誠
提出者	相模原市議会議員	五十嵐	千代
提出者	相模原市議会議員	西家	克己